

星空観望会

毎週土曜日 午後7時30分～9時
場所：西合志図書館天文台
参加費無料
※雨天・曇天の場合中止します。
天候が優れないときは、来館前に電話で確認ください。

☆5月の星空☆

明るく光るうしかい座のアークトゥルスとおとめ座のスピカがまざり目につきます。南東の空、スピカの右下には木星が、西の空には火星と土星が輝いています。

13日は満月ですので、前後の観望会では明るい月が観察できるでしょう。

また運がよければ、上旬にシュワスマン・ワハマン彗星が見られるかもしれません。

移動図書館車

「ひまわりドンちゃん号」巡回

現在、合生・須屋・野々島・上生を巡回しています。
年間巡回予定表は西合志図書館・移動図書館車にあります。

図書館掲示板

★西合志図書館 (☎242-5555)

♪マインドシアター(入場無料)♪

とき 5月27日(土)午後1時～
ところ 「西合志図書館集会室」
題名 『Mr・インクレディブル』

♪おはなし会(入場無料)♪

とき 毎週土・日曜日 午後2時～
5月6・7・13・14・20・21・27・28日
6月3・4日
ところ 西合志図書館「おはなしの部屋」

♪利用者自己処理端末が使えるようになりました♪

利用者の皆さんから要望が多かった、利用者自己処理端末を西合志図書館のカウンターに設置しました。(平日のみ利用可)

ただ、臨時休館前の操作方法と違っていているので、まずは操作説明パネルをよく読み、わからない箇所は図書館職員にお尋ねの上、貸出処理の漏れがないようご使用ください。(最後にレシートをご確認ください)

開館時間・休館日の変更について

4月1日から下記のとおり変更しています。

開館時間

○火・水・木・金・土 午前10時～午後6時
(西合志館のみ木曜日 午前10時～午後8時)
○日曜日・祝日 午前10時～午後5時

★合志図書館 (☎248-5754)

♪ふれあい映写会(入場無料)♪

とき 5月21日(日)午後1時30分～
ところ 「多目的研修室」合志図書館よこ
題名 『じゃりん子チエ』

♪ふれあいおはなし会(入場無料)♪

とき 毎週土曜日 午後2時30分～
5月6・13・20・27日
6月3日
ところ 合志図書館「おはなしコーナー」

☆子ども読書まつり☆

…ふしぎとの出会いVI…

とき 5月7日(日) 午前10時～
ところ “ヴィーブル”2階

内容 主人公体験 迷路あそび
科学あそび体験
おはなし会 など

わくわくどきどき楽しいあそびがいっぱいです。

※詳しくはチラシをご覧ください。

休館日

○月曜日(祝日の場合は翌日が休館)
○毎月末日(資料整理日：ただし土曜・日曜・祝日の場合は開館)
○特別整理期間、年末年始

BOOK

図書館だより



西合志図書館 (☎242-5555)
合志図書館 (☎248-5754)

『褐色の文豪』
佐藤賢一 著



「三銃士」「モンテクリスト伯」等の大傑作を著したフランスの小説家、アレクサンドル・デュマの波乱万丈な生涯を描いた小説です。当時のフランス革命への関わりや文豪ヴィクトル・ユーゴーとの友情?等、本当にノンフィクションかと、改めてナポレオン時代の歴史をひもとき、実証したい心境になると思います。

『ナイト・ウォッチ』
セルゲイ・ルキヤネンコ 著
法木綾子 訳



世界は異人と呼ばれる人々が光と闇のサイドに分かれ、お互いを監視しあいながら均衡を保っていた……。舞台は現代のモスクワ。主人公は光の側に立つ青年だが、地下鉄と夜の場面が多いので、モノトーンな色彩が全体を包んでいる。ロシアの作家によるファンタジー。

新刊お薦め本

新着本

一般書

『未来への記憶』 梁 石日
『ニューギニア南海支援「モレスビーの灯」』 三根生 久大
『女が仕事について考えておきたいこと』 伊東 明
『カラダ不健康度セルフチェック』 学習研究社
『生ゴミ堆肥ですてきに土づくり』 門田 幸代
『言わぬが花』 小川 陽子
『パズル・パレス』上・下 ダン・ブラウン
『危機の宰相』 沢木 耕太郎
『坂の上の雲』と日本人 関川 夏央
『犬のしっぽを撫でながら』 小川 洋子
『野球はベースボールを超えたのか』 ロバート・ホワイティング

児童書

『にゃんにゃん探偵団』 杉山 亮
『だれか、ふつうを教えてください!』 倉本 智明
『世界のお金事典』 平井 美帆
『動物のくらし』 学習研究社
『日本という国』 小熊 英二
『フランダーズの犬』(絵本) ウィーダ
『よるのびょういん』(絵本) 谷川 俊太郎
『かえりみちをわすれないで』(絵本) パット・ハッチンス
『ちんろろきしし』 元永 定正
『ケイゾウさんは四月がきらいです。』 市川 宣子



『佐賀のがばいばあちゃん』 島田洋七 著

漫才コンビB&Bの島田洋七氏の、小学校2年生から中学校卒業までの8年間を過ごした佐賀県でのお婆さんとの生活を綴った作品。食べるものにも事欠く超貧乏生活を楽しみながら、笑顔で孫を育てるがばい(す

ごい)ばあちゃん。映画化、コミック化と大反響を呼んでいます。がばいばあちゃんの言葉ひとつひとつに「本当の豊かさ」とはなにか考えさせられる、涙と笑いの感動作です。あわせて『がばいばあちゃん笑顔で生きんしゃい!』、最新作『がばいばあちゃん佐賀から広島へ めざせ甲子園』もどうぞ

今話題の本